

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立林野高等学校		
実践者等	飯田 真恵	実践日	令和3年6月14日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語総合・古典（漢文）		
対象生徒（学年等）	普通科1年次生		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)	漢文篇・入門一・二		
使用したアプリ等	Classroom、Meet、image.mate、Gmail		
実践の概要（ねらい等）	週末に教科の Classroom に動画を配信し、予習と演習を行わせ、各自で課題や疑問を見つけさせておき、授業では生徒の習熟度に合わせ質問や解説を個別に行う。		
実践の内容			
（１）漢文の基本や句法について、教科書を使って解説したものを、実物投影機と Meet を繋いで録画し、Classroom にアップしたものを、週末課題として視聴させ、事前配布プリントに個々の必要に応じてメモを取らせ、問題演習に取り組ませる。解答はスキャンしたものを、Classroom で共有しておき、生徒は自ら添削し、授業までに質問や課題を準備しておく。			
（２）授業では、質問や疑問があれば、教師に質問し、各自の解答をブラッシュアップさせていく。次の段階に進むことが難しい生徒についても、机間指導で個別に指導し、次のステップへ導き、自分で解答ができるように援助する。			
（３）理解が進んだ生徒は、プリントを完成させる。完成できた生徒は、より内容を深める課題に取り組ませる。			
※事前の動画予習のため、質問をする生徒が絞られることで、教師による個別支援が可能となる。 ※自ら動画による予習を行うことで、繰り返し再生して内容を確認することができるため、生徒は意欲的に取り組んでいる。			
参考となる HP 等			